

令和7年3月定例会一般質問

3月6日、7日に行った一般質問では、7人の議員が質問しました。

また、傍聴者は延べ6人でした。「一般質問」は、各議員の質問や提案等により、執行機関の見解や考え方を明らかにするもので、大切な「政策論争の場」です。

なお、次ページからの一般質問の要旨は、質問者自身でまとめています。

一般質問の会議録は、各議員のページにあるQRコードからご覧いただけます。

1 やまもと たかき 山本 隆樹	①食料・農業・農村基本法への改正への取組みは ②認知症基本法の推進は
2 ゆもと ゆきひろ 湯本 行浩 ※当日、体調不良により欠席	①木島平村の少子化問題について ②多様な産業が活力を生み出す ③実質公債費比率について
3 やまうら のぼる 山浦 登	①令和7年度政府予算案に対する評価と政治姿勢を質す ②令和7年度一般会計予算案について ③第7次総合振興計画について ④道の駅ファームス再整備計画について ⑤高齢者の一人暮らし支援について
4 えだ ひろこ 江田 宏子	①「ファームス木島平」の再整備について ②特色ある教育・子育て環境を前面に ③「魅力ある村づくり」と「村政運営」について
5 ゆもと なおき 湯本 直木	①議会一般質問の対応について ②村観光施設運営会社との向き合い方と村民への対応について ③農業経営の基盤安定化について ④木島平村教育振興基本計画前期（案）について ⑤信州型フリースクール認証制度への対応について
6 やまざき えいき 山崎 栄喜	①令和7年度予算について ②道の駅再整備計画について ③スキー場線の安全対策について
7 せき たつお 関 達夫	①集落の活動を支援する策を求める ②むらの事業を点検する ③村制70周年について
8 まるやま くにひさ 丸山 邦久	①少子化対策プロジェクトについて ②ファームス木島平の再整備計画について



議
会

No.271



次回定例会の予定（令和7年6月第2回）
※現時点の予定です。
・開会日 5月30日（金）
・一般質問 6月5日（木）～6日（金）
・閉会日 6月13日（金）

令和7年4月第2回臨時会 4月28日

上程された報告案件4件、承認案件9件、事件案件1件をすべて全会一致で承認・可決しました。主な議案は次のとおりです。

・小中学校タブレット購入契約 金 額 1,777万6千円
相手方 富士電機ITソリューション株式会社長野支店

■全員協議会（4月28日）【村からの提出案件】

- ◎協議事項 ・本会議提出議案等の説明 ・地域防災計画の概要
- ◎報告事項 ・熊の被害対策 ・ファームス木島平再整備計画の経過と予定
・SBC 木島平リゾート(株)合併に伴う村の対応 ・地域おこし協力隊（観光振興局局長候補）の採用 ・馬曲温泉の状況（シャワー設置と建物調査など）ほか

議会に対するご意見
をお聞かせください。

電 話

☎0269(82)3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会



一般質問
会議録

「令和の米騒動」と 農業を取り巻く情勢の変化への対応は

山本 隆樹 議員

食料・農業・農村基本法の 改正への取り組みは

質問

昨年、食料・農業・農村基本法が改正された。村の認識と取り組みは。

また、現在、木島平の農業従事者の高齢化が問題になっているが、村の実態、対策は。

村長

同基本法は、世界的な気候変動による食料生産の不安定化、世界的な人口増加、国際情勢の不安定化などにより、国民の食料安全保障を柱として位置付けられている。

人口減少に伴う農業者の減少等が進む状況においても、安定して食料を供給するための体制づくりとして、農地の集積や集約化の推進、生産基盤の整備・保全、環境負荷の低減、経営の安定化等が挙げられている。

また、人口減少下における農村の地域コミュニティの維持を明確化し、協働活動の促進や関係人口の増加、中山間地域の振興などが具体的に位置づけられている。

農業従事者の高齢化や従事者の減少などに対応していくため、担い手となる新規就農者の確保や小規模農業者への支援、有害鳥獣対策、地域における農地の集積・集約化、基盤の整備など多様な施策に取り組んでいく。

産業課長

2020年の農林業センサスでは、65歳以上の従事者の割合で71・7%、75歳以上の従事者の割合は40・3%となっている。

高齢化に対する主な対策では、農業従事者の確保対策として、農業担い手育成支援事業を行う。

新たな担い手の確保対策として、就農前および就農期の初期的経費相当を交付する国の新規就農者育成総合対策事業と県・村の制度をあわせて行うことで、新規就農者や親元就農者を確保していく。今年度、各制度5人が対象となり、将来の担い手として期待されている。

質問

米価が見直され、経営に影響が出てくる。今まで生産調整等があり、

作付けの変更による助成金で経営所得の安定を促してきた。米の評価が高い地域経済状況の中、管轄地域の条件、木島平の条件に合わせた施策の策定は。

村長

ネギやズッキーニ、キュウリを始めとした畑作農家の担い手が育ってきている。ある程度の畑作転換なども進めていきながら、地域の実情を生かした政策が必要と考えている。

木島平村農業再生協議会では、令和7年産の生産量の目安を決定し、生産者の皆様に生産調整の取組みをお願いしている。近年の米価の状況などを更に注視し、村として再生産可能な、持続可能な農業に向けて取組みを進める。国の方針と違っても村の施策として進めていくことも考えていく必要があると感じている。

質問

「地域計画」は、人口減少や農業従事者の高齢化が進む中、担い手確保や農地利用の最適化をするねらいで、市町村に策定が義務付けられている。策定の時期は。

産業課長

中山間直接支払制度の集落を中心として策定を進めている地域計画は、担い手への農地の集積・集約を目的とし、将来的に誰がどの農地を担っていくのかを明確化する作業を進めており、3月中に予定している。耕作者の見える化・地図化を行い、どこを誰が耕作するかを確認しながら決めていくこととなる。

質問

農業振興公社への更なる充実が求められるが。

産業課長

小規模農家や高齢農家の負担軽減として、作業受託や機械のレンタル事業は引き続きお願いしていく。再整備する道の駅等への出荷体制と生産会員の拡大のための支援も重要と考え、令和7年度新たに、集落支援制度を活用した直売所等への集出荷支援を行う体制づくりも予定。

このほか、次の質問をしました。

認知症基本法の推進について

- ・急速な高齢化で認知症は、いまや誰もがなり得る。村の現状は
- ・「新しい認知症観」の普及
- ・地域で安心できる暮らし
- ・当事者の意思尊重
- ・新たな知見や技術の活用
- ・地域の実情や特性を生かした取組み



←一般質問
会議録

村民の要望や意見を いかに村政に反映させるか

山浦 登議員

政府予算案の評価と政治姿勢は

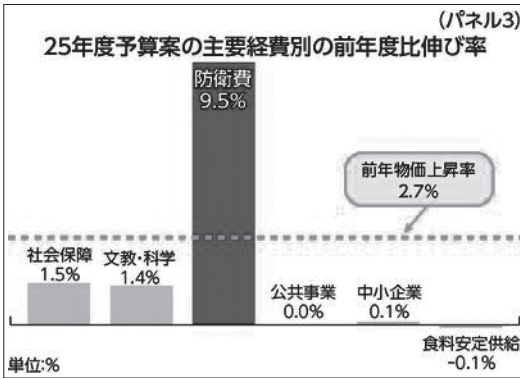
国の予算は、村の予算、財政、村民の暮らしに大きく関わりを持っている。令和7年度政府予算案をどのように評価するか。

村長

地方交付税や地方創生関連の予算が十分とは言えないまでも、増額されたことは評価できる。

防衛費GDP比1%を超え、2%に

22年度からわずか3年間で3兆3000億円も増加している。防衛費の増額方針をどのように考えるか。



防衛費が突出し、他の科目は前年度物価上昇率をいずれも下回り実質的に前年度より減額となっている。

村長

大前提となるのは、やはり平和。単に平和を望んでいるというだけではその平和を守れない。戦争を起こすための費用ではない。むしろ戦争に巻き込まれない、戦争を起こさない、自分の国は自分で守っていくための防衛費であるべきである。

一般会計予算案について

村民の要望を取り上げ、学校給食費無償化、18歳未満医療費無料化を実施することは評価したい。

財政調整基金が年々減少している中で、公共施設等総合管理計画の高額な予算捻出をどのように考えるか。

総務課長

公共施設の維持管理更新は、公共施設基金を充当し、国・県の補助金、地方債等を想定。今後の少子高齢化、人口減少および財政状況等を確認しながら、総合管理計画をそのまま進めるのではなく、将来動向を確認検討しながら適正な維持管理に努めていきたい。

第7次総合振興計画を どのように理解を得て進めるか

計画の中の「第3期木島平村総合

いかに村政に反映させるか

山浦 登議員

戦略」では、令和7年から4年間の出生数の目標を1年平均21人として、人口目標を22年3560人、42年2910人と設定している。6年度出生数は6人と一桁であり、大きな反響があった。目標と大きな乖離があるが。

村長

現状を見た目標より、村の将来を見据えた目標設定が必要と考える。

今後、村民の皆様にも参加いただき、また検証しながら必要な計画変更も視野に入れて進めていく。

総務課長

この計画のKGI（重要目標達成指標）として定めたもの。出生数は、村全体の目標人口達成のために必要な目標と位置づけられている。年度ごとに見直しながら、今後も人口減少対策、少子化対策を強力に進める必要がある。

道の駅再整備計画について

道の駅支援機構による運営改善計画はどう生かし、今回の再整備計画にどう取り入れるか。

産業企画室長

参考にした部分は、市場調査結果と現状とのギャップを埋めるための方策。市場調査結果は、潜在的な需要予測として、1億5000万円から2億円が示され、3年目の売上高を1億5000万円と設定している。

ギャップを埋める方策は、動線の確保や、米どころの道の駅として、魅力を十分に楽しむことができることなどを取り入れている。

より丁寧な説明と理解を得る努力を

説明会が2回のみであれば、その後パブリックコメントとともに、アンケート実施の強い要望が出ている。

村長

現時点では、3月に2回の予定だが、今後、事業が具体化するにつれて、説明会等が必要と考える。

産業企画室長

現時点、アンケートは考えていない。

冬季間、高齢者のための 集合住宅を提供できないか

村長

高齢者の一時居住施設として、福寿苑を活用し運営を図ってきた経過がある。

民生課長

現段階では、必要に応じて福祉サービスを活用しながら、自宅で過ごせる援助を行っていく。

現状は、施設、スタッフの確保、利用料の状況等もあり、すぐに対応するのは困難である。



←一般質問
会議録

「道の駅ファームス木島平」 再整備の必要性と村の構想(案)は

村長

- ◆再整備は「村の魅力発信や賑わいの拠点」として必要。老朽化により、安全面からも現状維持はできない。
 - ◆導入予定の機能は農産物販売やイベント、子供向け機能の強化等で、多くの村民が関わる賑わいの場に、また、コワーキングスペース^(※1)やチャレンジショップ^(※2)を設け、関係人口拡大や産業創出にもつなげたいと考えている。
 - ※1 仕事や学習等で利用できる場所。リモートワーク等での利用も多い。
 - ※2 起業希望の事業者等が店舗等をもつ前に、お試して挑戦できるスペース。
- 産業企画室長**
- ◆整備概要(案)はそば処など、現店舗側の建物を残し、老朽化著しいマルシェホール側を解体、小規模な建物を新たな配置で新築予定。
 - ◆スケジュール(案)は
 - ・今年度 指定管理候補者選定(公募)
 - ・令和8年度 設計
 - ・令和9～10年度 工事
 - ・工事中、現店舗休業の可能性大
 - ・令和10年秋の開業をめざす

ナンバーワン×オンリーワンの魅力で 「選ばれる木島平」に!!

江田 宏子 議員

- ◆指定管理者が見つからない場合は条件見直し等で、再公募を検討。
- ◆既存の「加工機器」の扱いは指定管理候補者と精査し、対応を整理する。

質問

説明会で示す案の「位置づけ」と反対意見が多い場合の対応等は。

村長

- ◆提示する案はたたき台であり、意見を聞きながら具体化していく。
- ◆再整備を行わない場合 危険な部分、または全体の解体撤去をする。

産業企画室長

- ◆反対意見が多い場合 解体撤去も含めて再検討。

教育や子育て環境の 「特色」「独自性」のアピールを

質問

村が前面に打ち出したい「特色ある教育・子育て政策」は。

教育長

- ◆一番の特色は東京大学大学院との連携による「児童・生徒主体の探求と協働の授業づくり・学校づくり」。
- ◆特色ある取組みは小学校では「全校参加の米作り」「八丈島の体験

学習」「2泊3日の修学旅行」、中学校では「未来塾」「ルクセンブルクの国際交流」など。

- ◆今後は「子ども家庭センター」の設置

「子ども・子育て支援条例」の制定、「平和教育の導入と広島訪問」「大学との教育連携の強化」などを予定。

質問

県が進める「ウェルビーイング実践校」制度への応募と考える。人間力・生き抜く力をつけるための取組みは。

教育長

村の教育ビジョンは既に「ウェルビーイング」(身体的・精神的・社会的に良好な状態)の趣旨を満たしており、応募の必要性は低いと判断。小中合同職員会では次の4つのプロジェクト(以下P)を発足。

- ・木島平の魅力発見P
- ・小中9年間の体験学習を系統化

未来をつくる授業の構築P

- ・子供の学びや学力向上を検証

誰もが学びやすい学校P

- ・居場所づくりと学びの保障

子供中心の学校支援

- ・子供たちのための改善P
- ・学校施設の環境を検証

質問

教育分野での「地域おこし協力隊」「地域活性化起業人」等の導入は。

(例：授業のICT化のサポート、児童クラブスタッフ、アウトドア活動やプレーパークの企画など)

子育て支援課長

定着や連携に課題もあるため、慎重に検討していく。

質問

ケヤキの森公園の「川遊びの環境整備」「見守り体制」「遊び場(杉林の中)構想」への取組みは。

子育て支援課長

◆河床整備は既に北信建設事務所で完了し、春作業は不要と考えている。

- ◆見守り体制は 学校運営協議会等で協議予定。

◆遊び場構想は 土地所有の整理を踏まえ、今後の検討課題として、学校運営協議会でも共有中。

魅力ある村づくりと村政運営を

質問

村づくりで大切にしていることやアピールを強化したいポイントは。

村長

「住んで良かった」と思う村民を増やすことが一番大事。

米や木島平での子育ての魅力をしつかりアピールしたい。

ほか「国・県との連携」や「財源確保」の取組み状況について質問。



←一般質問
会議録



目的や目的意識を明確にして業務の遂行を

湯本 直木 議員

議会一般質問の対応について

質 問

過去6回の一般質問の答弁について「検討します」などの先送りや棚上げした内容の答弁が多く見受けられるが、回答責任者の意識を変えていただくように、任命権者としての村長の見解は。

村 長

「検討します」の表現は、再質問以降で回答する場面が多いと認識している。

今後は、検討結果や状況等の報告について迅速な対応に努めていきたい。また、「できる」「できない」「検討継続」など庁議(課長会議)で諮って迅速な対応をするよう促したい。

村観光施設運営会社との向き合い方と村民への対応について

質 問

村長は常々「木島平村は観光と農業の村だ」と発言しているが、現状はどうか。村民の立場に立った発言、村民目線での発言とはまったく裏腹で、不誠実ともとれる対応として、民法210条「囲繞地(いにようち)通行権」について伺う。

現在、スキー場敷地に隣接して囲繞地(袋地)の状態になっている場所に住んでいる村民や事業者がいることについての見解は。

産業課長

囲繞地通行権の把握の状況と対応については、2月上旬に関係者との現状と今後の対応について説明した。契約の中でも、従前の立入権などは制約を課さないことになっている。

しかし、今回の要望を受け、運営事業者とも協議をし、改めて文章化し同意する文書を交わす了承を得て、手続きを進めていく。

質 問

早く契約が進むという理解で良いか。

産業課長

現在、囲繞地の状況にある方が複数いる。村が仲介に入り、権利があること、権利が守られることを、明文化していくことを説明しながら進めていきたい。

農業経営の基盤安定について

質 問

農業関係の支援事業を複数展開しているが、更に農業経営の安定化を図り、農家の栽培意欲向上や農作地

の維持確保を図り、更なる農業施策の推進のために、近年頻発している異常気象や自然災害等での農家の収入減に対応するための施策が早急に必要なと考えるが。

産業課長

自然災害同様に、農業者の経営努力では避けられないリスクから、農業収入の減収を保障できる「収入保険制度」があるが、これは果樹、野菜など天候に左右されやすい作物を栽培している方のメリットが大きい制度と認識している。木島平村は水稻、畑作の作型であるため、今後農業者の意見を聞きながら具体的に検討していきたい。

木島平村教育振興基本計画前期(案)について

質 問

令和7年4月策定予定の「木島平村教育振興基本計画前期(案)」の中に、「木島平型教育の推進」について7項目挙げられているが、これを実現するための具体的な施策や実施計画は。

教育長

すでに6年度の教育活動に取り組んでいるものもあり、7年度の

学校運営や教育内容、学校行事等に位置付けられるものは位置づけて計画をしている。

質 問

7項目すべてについて聞きたいが、1番目の「他者との共同による『主体的・対話的で深い学び』で、確かな学力と自律性を育む木島平型教育の充実」の内容は。

教育長

東京大学との連携協定の中で進めている「探究と協同の学び」が、主体的で対話的で深い学びと理解している。そのことを通して確かな学力の自律性を育んでいくということを継続してやっている。

信州型フリースクール 認証制度への対応について

質 問

県から「信州型フリースクール※認証制度」への対応を求められているが、村の対応は。

教育長

県からは具体的な指示はきていない。

現在、岳北地域では「NPO法人ぱーむぼいす」が唯一認証を得ているが、本村の小中学生が利用している報告は受けていない。

※フリースクールとは…

主に不登校の子どもたちを受け入れる教育機関。公的な学校ではなく、目的により規模や形態は様々。



←一般質問
会議録

膨れる村の予算。財政は大丈夫か？

山崎 栄喜 議員

村の予算は膨れているが大丈夫か

質 問

令和7年度一般会計予算は、昨年度より4億7638万円、12・8%増加している。その要因は。

総務課長

会計年度任用職員の人件費、物価高騰に伴う費用、エコパーク寒川の大規模改修負担金、村営住宅建設事業費等の増額が主な要因。

質 問

財政調整基金が、昨年11月に提示された額より4053万円少なくなっている。その要因は。

総務課長

令和6年度補正予算の財源に充当した。

質 問

少子化対策は、結婚対策、若い世代の働く場所の確保、遠隔地通勤助成、他地区から若い世代が移住したくなる対策も必要。

村 長

若者住宅、新規就農、創業支援、事業承継支援策などを網羅的に取り組む。

質 問

観光ビジョン策定業務委託料が計上されているが、スキー場、馬曲温泉など主要な観光施設を民営化した中で、「ビジョン策定のねらい」と「業者に委託する理由」は。

産業課長

村全体を資源として捉え、事業者、地域の人、関係する組織全体で目標を共有し、それぞれの役割をつくり、一体感を持つて取り組む必要があり、そのための指針となるビジョンを策定する。

観光事業は専門性の高い事業であり、知見や経験の豊富な事業者を想定し、作成の手法やアドバイスをいただく。

質 問

予算が年々膨れている。事業の選択と集中が大事。後々に困らない基金の確保ができるのか。

村 長

将来、困るような状況にならないようにしていく。

質 問

実施計画にない道の駅再整備事業費、開業後の指定管理費のほか、

広域連合分担金なども増額になる。財政計画では、4年後の財政調整基金の見込額はどのくらいと推測されるか。

総務課長

今の計画（1200万円）より3億円程度増える。

道の駅は成功するか 村の負担額は

質 問

潜在的な需要予測として、1億5000万円から2億円というが、昨年1年間の道の駅と食彩市場たる川を合わせた売上額は7880万円。これで事業が成功するか。

産業企画室長

リニューアル後の3年目の売上高1億5000万円を達成できる可能性はあると考えている。

質 問

過去の質問で、収益事業に関わる赤字補填、駅長・事務員の経費を村から支出しないと答弁されたが、その方針が変わらないか。

産業企画室長

変わりはない。

質 問

再整備に関する運営事業者が納める納付金はいくらか。

産業企画室長

収益施設の建設に要した村の実負担額を耐用年数で割って得た額を基本とする。現時点、収益施設と公益施設ごとの詳細な建設事業費までは把握していないため、具体的な額は示せない。

質 問

再整備に要する村の実質的な負担額はいくらになるか。

産業企画室長

現時点の総事業費は約6億2700万円であり、納付金を考慮しない場合、補助金と過疎債の交付税措置分を除いた村の負担額は2億円弱を見込んでいます。

質 問

施設完成後の指定管理費の額は。

産業企画室長

現時点では具体的な額は示すことができない。

このほか、2月22日に、スキー場線の数か所で発生した事故（計12台の車が追突、2時間以上通行できなかった）に関して、スキー場線の安全対策について質問しました。



←一般質問
会議録

各集落に元気の出る支援を求める

関 達夫 議員

集落への行政交付金を増やさないか

質問

各集落は、高齢化、少子化、人口減少で運営するに厳しくなっている。共同活動するにも人出不足で、村の事業の一部をこなすにも大変である。

①区は環境整備などの共同作業での事故に備え、傷害保険、賠償保険に加入しているが、保険掛金への補助は。

②分館の耐震化の進捗状況は、火災共済の加入は充分か。地震保障を加えると掛金が多額となる。再建するにも村の支援は3割が限度。共済掛金補助の方が良案では。

③寄付募金、学校支援金、後援会費など区費で一括支払いを行う区は多い。目的額は達成できるが、募金意識が希薄化する。区任せのあり様は検討に値する。役場の仕事ではないが、区長に依頼するには、各団体に事業の主旨を啓発させるべき。

④消防団の重要性は言うまでもなく、活動には感謝している。ホースなどの装備品の3割は区の負担。

軽減できないか。

村長

①共同作業など地域の活動は安全に行っていた。掛金の補助については考えたい。

総務課長

②耐震工事済は4件、新築は5件。今後を含めると13地区になる。各区の保険加入内容は把握していない。地震保険等の掛金の補助は考えていない。

③寄付金、募金は善意、任意である。行政が過度に関われないが、取扱い方法等でご意見があれば、各団体につなげていきたい。

④令和8年度に向け、補助率改善を検討していきたい。

交通安全共済の全村加入は必要か

質問

昭和43年、交通戦争と言われた頃、主に交通弱者の子ども、高齢者の被害事故に備えるとして、交通災害共済が発足した。加入は任意だが、村は、昨年から全村民公費加入とした。少額な掛金の収受が煩雑で、手数料がかかり、各区での対応は大変

だったが、手間はなくなった。

加入に個人の選択肢がなく、民営を圧迫することにならないか。強制保険での対応、個人加入の保険・共済で十分では。

村長

区の役員にお願いしてきたが、その事務を解消し、村民の皆さんにこの制度で安心を得ていただきたい。生活保障する制度ではなく、あくまでも見舞金の制度である。今後この事業は継続して行う。

ルクセンブルク交流事業の見直しを

質問

①ルクセンブルク大公園との中学生の交流事業は20年続いているが、村民の認知度、事業の評価は。

②渡航にあたり、旅行会社任せでいいのか。生徒以外の参加者数は。

③すでに100人超が参加し、上級の学びを終え、活躍されていると信じている。その方々に事業への協賛金、寄付をお願いし、発展に寄与していただいたらどうか。

子育て支援課長

①参加者が報告を提出し、全校生徒

の前で文化の違いや、感じ取った所感を報告している。個々の交流を継続している方もいる。学校広報で知らせている。

②学校のA・L・Tと現地の担当者で詳細を協議して決めている。海外旅行であるため、旅行代理店に安全対応を依頼している。生徒以外は3人。

③今年は、負担金を増額する予定。協賛金で賄うところもあるが、国際交流基金の活用などを調査し、財源確保に努めたい。

先人の苦勞を忘れない

質問

村制施行70周年、調布市との姉妹都市盟約40周年となる。予算計上してある計画を伺う。

村長

それぞれ節目の年である。先住の皆さんの苦勞や努力があったからこそこの節目。今後の村の発展・繁栄、調布市との交流の益々の推進を図っていく大事な機会と位置付けている。

総務課長

村制施行70周年事業では、10月19日に記念式典を開催し、桐朋学園の演奏も行う。

また、60周年でも行ったが、各地区の集合写真の撮影をお願いしている。



←一般質問
会議録

ぶっしん 村が物心ともに豊かになり 子供が増えるために何が必要か

丸山 邦久 議員

生まれてくる子供を増やすには

質 問

第3期木島平村総合戦略の基本目標に「少子化対策プロジェクト」が挙げられている。

出生数の目標値は、令和7年から令和10年までの平均で21人となっているが、令和6年度の出生数が6人であるので高い目標である。

村の少子化の原因は何だと考えているか。

村 長

若者の流出、晩婚化、ライフスタイルの変化。子育てに対する経済的な不安もあると考えている。

総務課長

庁内で「少子化対策推進部会」を組織し、施策の検討を進めてきた。

社会増減では、単身から新婚世帯向けの賃貸物件が無く、地域活動に対する負担が大きいこと、自然増減では、不妊治療への経済的不安やプライバシーの心配、学びの場がなく教育費用が高いことが挙げられた。

質 問

村で結婚したカップルは、令和元年6組、令和2年3組、令和3年

5組、令和4年3組、令和5年2組、令和6年9組。生まれた子どもは、

令和元年27人、令和2年16人、令和3年16人、令和4年14人、令和5年13人、令和6年は6人。

村に20代、30代の女性がいないと感じるが、村長の見解は。

村 長

若い皆さんの減少傾向は事実であると捉えている。

質 問

少子化に歯止めをかけ、出生数の増加につなげる戦略は何か。

総務課長

効果的な戦略が見えない中で、できることに取り組むということでご理解いただきたい。

質 問

共働きでなければ生活できない。女性にも収入がないと子どもがつかれない。そういう兆候が出ている。

村のスローガンとして、「ジェンダーギャップ※解消の村」を打ち上げたかどうか。

※ジェンダーギャップとは…男女の性差によって生じる格差のこと。

村 長

できることを全て取り組んでいか

れればと思っている。

質 問

男性の産休取得率が高く、所得格差、それから役員になる格差が少ない産業はIT産業である。ここに絞って誘致活動をしたらどうか。

村 長

そのような若い皆さんが憧れるような仕事があればいいと思うが、可能かどうかは別だと思う。

質 問

就労場の確保・創出を掲げているが、具体的にしていける戦略は何か。

産業課長

事業承継と創業支援補助金制度の見直しを行う。

質 問

既存の会社が新規事業に取り組むときに、地域おこし協力隊員を立ち上げの人員として配置することは考えないか。

産業課長

今後、考えていきたい。

ファームス木島平はどうなるのか

質 問

道の駅ファームス木島平再整備計画が示された。計画書を読んで良

結果が出るとは思えない。

入口での通行量調査も周辺人口調査も行われていないが、市場調査が、極めて不十分だと考えないか。

産業企画室長

令和3年度に実施した市場調査の内容であり、不十分ではない。

質 問

4年も経てば状況は変わる。通行量調査はどこで行ったものか。

産業企画室長

国道403号の飯山市木島のセブンイレブンの前と大町の区民会館の前の通行量を合算して2で割った数字を使っている。

質 問

通行量は入口前で調査するもの。計画段階から運営事業者が加わることで事業がうまくいくと考えているが、大丈夫か。

産業企画室長

運営事業者の意見を設計段階から反映させることにより、維持管理がしやすく、コスト削減と来場者へのサービス向上につなげることができる。

質 問

主体性も持たず、知恵も出さず、汗もかかない。そんな計画でうまくいった例はないと思う。この村は、誰が指導力を発揮するのか。

村 長

私ということになる。